

**自然災害と子ども・教育**

『教育』5・8月号で、能登半島地震と被災経験の継承、防災を取り上げました。関連する理論や実践、経験を交流するなかで、災害との向き合い方を考えます。

山沢智樹(岩手)  
新東一樹(山梨)

**多摩の戦跡から学ぶ戦争と平和、いま平和教育をつくる**

中島飛行機多摩工場爆撃を素材に、戦争の記憶をどのように平和教育を通して継承していくのかを考えます。特に既存の歴史が、戦後つくられたものではないかを問い返し、教材化するうえでの注意点を考えます。

一盛 真(鳥取)  
杉田明宏(東京)

おわりの集い 8月8日(金) 13時~15時

対面  
オンライン  
併用

●シンポジウム「不登校問題を考える」(詳細はHPでお知らせします)●

## 会場アクセス

成蹊小学校 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

◆JR中央線、京王井の頭線「吉祥寺駅」

- (1)北口バスのりば1・2番より関東バスで約5分、「成蹊学園前」下車
- (2)吉祥寺駅より徒歩15分

◆西武新宿線「西武柳沢駅」南口

関東バス(吉祥寺駅行)で約15分、「成蹊学園前」下車

◆地図アプリを使う場合は  
「成蹊大学正門」に設定してください。  
大学正門に入って、右側通路を進むと  
右手に小学校があります。



## 昼食・宿泊・キッズルーム

◆昼食は各自でご用意ください。◆都内のホテルは早めにご予約ください。

◆キッズルームは3歳~小学生が対象です。

7月22日までに大会参加申し込み後に配信されるグループフォームからお申し込みください。  
詳しくは下記のお問い合わせ先まで。

上履きを必ず  
ご持参ください!

## 参加費

|                   | 教職員(常勤)         | 一般(保護者・市民・退職者など) | 学生・院生 | 高校生以下 |
|-------------------|-----------------|------------------|-------|-------|
| 全日参加              | 5000円(会員割引500円) | 4000円(会員割引500円)  | 1000円 | 無料    |
| 1日参加              | 3000円(会員割引500円) | 2000円(会員割引500円)  |       |       |
| 交流会<br>(6日18:00~) | 4000円           |                  | 2000円 |       |

## 申し込み

教育科学研究会ホームページの大会特集ページ(<https://kyoukaken.jp/fes>)からお申し込みください。  
「教科研」で検索できます。Peatixを利用して参加費を納入していただきます。

## 問い合わせ

教育科学研究会(金曜13時~17時)  
〒162-0818東京都新宿区築地町19小野ビル2階

Tel&Fax ▶ 03-3235-0622 Email ▶ [kyoukaken@nifty.com](mailto:kyoukaken@nifty.com)

教科研大会ホームページ



教科研Instagram



design: takahashi ai

第63回教育科学研究会全国大会・武蔵野集会

(略称: 教科研武蔵野集会)

主催: 教育科学研究会・教科研武蔵野集会実行委員会

後援: 武蔵野市教育委員会

# ともに生きられる 社会と教育を求めて

2025年8月

6日(水)・7日(木)・8日(金)

## スケジュール

6日(水)  
10:00~12:00 教科研講座(対面のみ)  
13:30~17:00 はじめの集いと記念講演(対面・オンライン)  
18:00~20:00 交流会

7日(木)  
9:30~17:00 分科会(対面・オンライン)  
17:15~18:30 教科研総会(対面・オンライン)

8日(金)  
9:30~12:00 教育問題フォーラム(対面・オンライン)  
13:00~15:00 おわりの集い(対面・オンライン)

## はじめの集いと記念講演

8月6日(水)13時30分~17時

※10時からの教科研講座は次ページに掲載しています

13時30分~14時45分

●武蔵野集会実行委員長 あいさつ 横田誠仁 ● 教科研委員長あいさつ+基調報告 片岡洋子 ●

●大会実行委員会企画「寄り道していいんだよ」●

わたしたちはいま、大人も子どもも、寄り道しないようにルートからはずれないように縛られてはいませんか。  
いまの子どもを取り巻く現状を語り合い、子ども達の「自分色」がきらきらと輝くような世界を見つけていきませんか。

15時~17時(質疑応答含む)

●記念講演 落合恵子さん(作家・クレヨンハウス主宰)●



演題 「それぞれが自分色に」

ダイバーシティなど言葉だけは上滑り気味に広がっていますが、その実態は？  
わたしたち、ひとりひとりが本当に「自分を生き」、そして自分を「生き切るため」に  
解き放たなければならない鎖とは。言葉だけの自由や人権を、わたしは信じない。

## プロフィール

1945年栃木県宇都宮生まれ。終戦を迎える年に、そして民主主義のスタートに偶然生まれたことを、必然に変えたいと思い、生きてきたような。22歳でラジオ局入社。メディアというものが、いかに自分たちは一般の市民とは違うのだという「選民意識」によって成立しているかを痛感。ほぼ10年で退職。著書の印税をもとに、子どもの本の専門店「クレヨンハウス」を設立。来年は50周年。1980年代から小説『ザ・レイプ』、『セカンド・レイプ』、『セクシュアル・ハラスメント』など、女性の視点で性加害を描きつつ、社会におけるマイノリティの「声なき声」をテーマにした作品多数。他にも『母に歌う子守歌』、『老いることはいやですか?』、『明るい覚悟』、『私たち』など多数の著作。

※報道関係者による取材申し込みに関しましては、事前に教科研事務局まで連絡をお願いいたします ▶ [kyoukaken@nifty.com](mailto:kyoukaken@nifty.com)

クレヨンハウスは  
成蹊小学校の近くです!  
ぜひお立ち寄りください。

